

3) gl

この2つの子音字のあとには母音 a, e, i, o, u がきますが、ふつうは「gl ⇒ グル」と発音します。ところが、母音 i のときだけは気をつけなければなりません。

- ① *gla, gle, gli, glo, glu* 「グ」と「ル」の結びつきです。

グラ グレ ギリ グロ グルウ

glaciale gleba glicine globo glutine

グラチャーレ グレーバ グリーチネ グローボ グルウーティネ

- ② *gli* ⇒ 母音 i がうしろへくる場合、上のように「グリ」になることはたいへん少なく、ふつうは「リ」のような音になります。

figlio famiglia moglie paglia aglio

フィーリオ ファミーリヤ モーリエ パーリヤ アーリオ

4) gn *gna, gne, gni, gno, gnu* ⇒ 猫の鳴き声に似た鼻に抜ける（ニュ）の短い音です。

ニヤ ニエ ニ ニヨ ニュウ

montagna ingegnere ogni bagno ignudo

モンターニヤ インジェニエーレ オーニ バーニヨ イニュウード

5) h 「無音」 ⇒ この字自体には音がありません。C, g と e, i の間にはさんで che, chi; ghe, ghi の音を作るのが主な役目で、まれに単語の頭におきますが、その場合はまったく発音しません。

ha ho hanno

ア オ アンノ

6) q *qua, que, qui, quo*

クウア クウエ クワイ クウオ

⇒ 「ク」の短い音ですが、次にかならず母音の u がおかれ、さらにそのあとにほかの母音がつくという形になります。

quadro questo aquila liquore

クウアードロ クウエスト アークウイラ リクウオーレ

7) s

この字には清音 [s ス] と 濁音 [z ズ] の区別があります。次のような簡単な規則があります。

- ① 清音 ⇒ 日本語の [ス] の短い音です。

- i) *s+f, c, ch, p, t* (フ、ク、プ、トウ。これらの子音もすべて清音):

sfondo scuola schiena spillo stoffa

スフォンド スクウオーラ スピッロ ストッファ

- ii) 語頭 *s+ 母音:*

sano sopra sistema seme subito

サーノ ソープラ スイステーマ セーメ スウービト

- iii) 二重の *s:*

basso missione grasso cassa discussso

バッソ ミッシオーネ グラッソ カッサ ディスクウッソ

iv) 母音と母音にはさまれた s の一部:

riso casa riposo

リーソ カーサ リポーソ

② 濁音 ⇒ 日本語の [ズ] の短い音です。

i) s+b, d, g, gh, v (ブ、ドウ、グ (ジ) ヴラ濁音の子音字) および l, m, n, r:

sbocco sdegno sgombro sgherro sgelo sviluppo slancio smalto snello sradicare

ズボッコ ズデーニョ ズゴンブロ ズゲッロ ズジェーロ ズヴィルウッポ ズランチョ ズマルト ズネッロ ズラデ
イカーレ

ii) 母音と母音にはさまれた s の大半:

rosa francese paese isola

ローザ フランチェーゼ パエーゼ イーゾラ

8) sc

s のあとに子音の c が付くときは注意が必要です。「ク」の音つまり ca, che, chi, co, cu がつくときは「スク」にするだけで問題はありませんが、「チ」の音つまり cia, ce, ci, cio, ciu がつくときは、とくに気をつけてください。1 つの音「シ」に変わってしまうのです。

① sca, sche, schi, sco, scu

スカ スケ スキ スコ スクウ

scala scheda schifo disco scudo

スカラ スケーダ スキーフォ ディスコ スクウード

② scia, sce, sci, scio, sciu ⇒ 日本語の [シ] を短く、強く発音します。

シャ シエ シ ショ シュウ

sciarpa scena cuscino uscio asciutto

シャルパ シエーナ クウシーノ ウーショ アシュウット

9) z

z にも s のように清音と濁音の区別がありますが、s のときのような区別の規則はありません。

z の字を使う語は比較的少なく、しかもとくに語頭の z は地方によって清濁がまちまちです。

① 清音 ⇒ 「ツ」の短い音です。

zampa zecca zio prezzo zucchero

ツアンパ ツエッカ ツィーオ プレッツオ ツウッケロ

② 濁音 ⇒ 「ヅ」の短い音です。

zanzara zero dozzina mezzo zuavo

ヅアンヅアーラ ツエーロ ドッヅィーナ メッヅオ ツウアーヴオ

10) アクセント

i) うしろから 2 つめの音節にアクセントのある語。

minòre cartolìna pavimènto modèsto domànda

ミノーレ カルトリーナ パヴィメント モデスト ドマンダ

ii) うしろから 3つめの音節にアクセントのある語。

mùsica càmera àlbero òspite ròndine
ムウーズイカ カーメラ アルベロ オスピテ ロンディネ

iii) いちばん最後の音節にアクセントのある語。

università caffè facoltà virtù perchè
ユニヴェルスィタ カッフェ ファコルタ ヴィルトゥ ペルケ

11) 母音字省略

冠詞や前置詞 di などのあとに母音ではじまる語がくると、母音が 2 つ重なるのを避けて、冠詞や di の語尾の母音をとってしまします。代わりに省略記号 (') をおき、発音するときはつながっている 1 つの語と同じように読みます。

una oliva ⇒ un'oliva di abito ⇒ d'abito
ウノリーヴア ダービト

12) 好音字

語調をよくするために、前置詞 a や接続詞 e などの語の次に母音ではじまる語がくると、意味のない字 **d** をつけることがあります。

Mario e io ⇒ Mario ed io
マーリオ エドウ イオ